

事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 農林水産局 水産課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 楠 本 正 博 (課長補佐兼漁場整備係長) (近 藤 敬 三)	内線	4149 (4163)
------	--------------------	---------------------	--	----	----------------

事業種目	漁場整備開発	事業名	事業区間	総事業費	約4億円
		増殖場造成事業	家島地区	内用地補償費	- 億円
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度
飾磨郡家島町地先				H17	H17
事業目的			事業内容		
<p>瀬戸内海では、海面の埋め立てによる浅海域の藻場の減少によって、稚魚の成育環境が悪化し、再生産力が低下している。また、限られた漁場で多くの漁船が操業するため、水産資源の減少が懸念されている。よって、水産資源の維持培養を図るため、自然石、鋼製礁を設置し、稚魚等の育成に適した増殖場の造成を行う。</p>			<p>対象生物：メバル、カゴ、カダイ、スズキ 事業量：34ha (自然石 42,000m³) (鋼製礁 114基) 事業費内訳：国50%、県50%</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	<p>本事業は、漁港漁場整備長期計画（H14～H18）において、兵庫内海西地区の水産資源の維持増大を図るための主要な事業の一つとして位置付けられている。</p> <p>メバル他3魚種は、沿岸の漁獲魚の中で高級魚として重要であり、地元の増殖場造成の要望が強く、資源の増大によって受益を受ける漁業者の割合は74%を占めている。</p> <p>近年、基幹漁業である小型機船底びき網漁業の漁業生産金額が低下しており、漁業経営は苦しい状況にある。このことから、高級魚であるメバル等の増産により、漁業経営の安定化を早急に図る必要がある。</p> <p>当事業によって漁業生産量56トンの増産が期待され、漁業が主幹産業である当地域の活性化への貢献が大きい。</p>				
(2)有効性・効率性	<p>当増殖場の造成によって、年間の漁業生産量は56トンの増産が見込まれることから、費用便益比は1.39と算定され、有効な事業である。</p> <p>家島地区は小型底びき網、刺網等の沿岸漁業が盛んであり、播磨灘における漁業生産の基地として機能している。このことから、増殖場の造成による生産増大効果が最も発現される地区であり、地元漁業者、家島町の期待も大きく、漁協、町の事業実施及び施設の維持・管理に関する協力体制も確立している。</p>				
(3)環境適合性	<p>増殖場造成による生物量、藻場の増大によって、周辺海域の環境の修復・創造が期待される。</p>				
(4)優先性	<p>家島群島周辺海域は、単純な海底面の広がる播磨灘にあって、メバル等にとって貴重な増殖可能域である藻場、磯場が点在している。このことから、当地区の漁場整備は、播磨灘全域の水産資源の増大にとって重要である。</p>				